

Unit 1.1 いちばん簡単な Hello, world!

1.1.1 はじめの一步

まずはじめの一步として、お決まりの「Hello, world!」を作成してみよう。「Hello, world!」は、ウィンドウにたった1つ「Hello, world!」と書かれたラベルを貼り付けて作るだけの最も簡単なアプリケーションだ。したがって既に iPhone アプリに挑戦してみたことのある読者であれば、この Unit は読み飛ばしてもらっても構わない。

このはじめの一步では、Interface Builder を使って「Hello, world!」を作成する。それが、いちばん簡単な方法だからだ。ただ、この Unit を必要としている読者であれば、いきなり Interface Builder とか言われても構えてしまうかもしれない。しかし、安心してほしい。この Unit では、とにかく懇切丁寧に、手取り足取り「Hello, world!」が完成するまでの手順を解説していく。

1.1.2 Hello, world! プロジェクトの作成

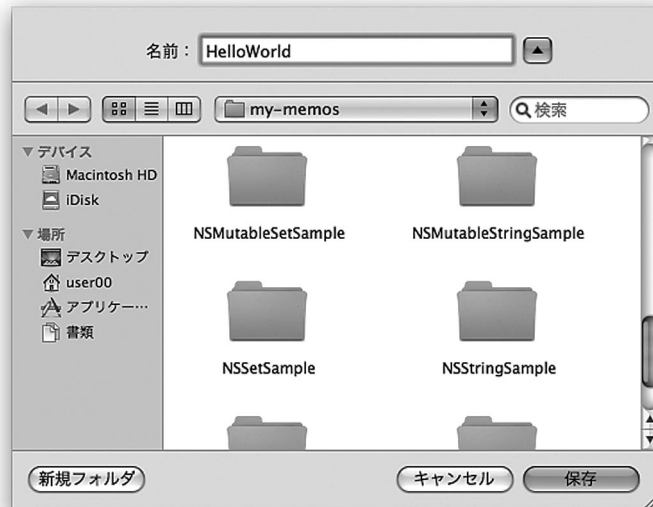
まずは Xcode を起動し、メニューバーから[ファイル]→[新規プロジェクト]を選択し、テンプレートとして「Window-based Application」を選択する(図 1.1-1)。「Window-based Application」は、空のウィンドウが1つだけが存在する最もシンプルなテンプレートだ。これから、その空のウィンドウに「Hello, world!」というラベルを貼り付けていく。

▶ 図 1.1-1 新規プロジェクトのテンプレート選択



[選択] ボタンをクリックすると、プロジェクト用フォルダを作成するためのダイアログが表示される(図 1.1-2)。ここでは、任意のディレクトリを選んで名前の欄に「HelloWorld」と入力し、[保存] ボタンをクリックしよう。

▶ 図 1.1-2 Hello, world! プロジェクトの作成



これで Hello, world! プロジェクトの作成は完了だ。それでは早速、「Hello, world!」と表示するための画面を作っていこう。

1.1.3 Interface Builder による画面作成

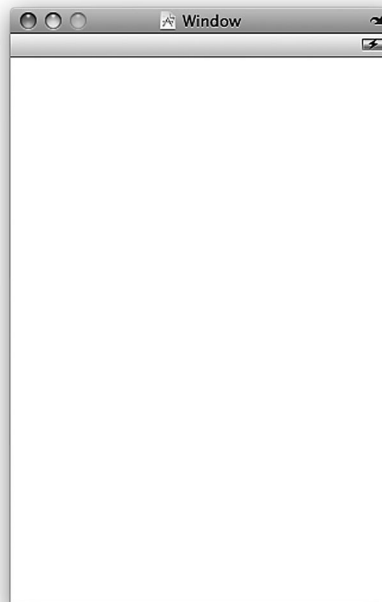
XCode には、より簡単に画面が開発できるよう Interface Builder というツールが用意されている。この Interface Builder を使えば、全くソースコードを編集しないで「Hello, world!」を作り上げることも可能だ。Interface Builder を使って画面を作成するには、その画面を管理するファイルである `MainWindow.xib` をダブルクリックする。`MainWindow.xib` は図 1.1-3 のように、ウィンドウの左側にある [グループとファイル] の中から [NIB ファイル] を選択したときに、ウィンドウの右上に表示されるものを選択する。

▶ 図 1.1-3 MainWindow.xib の選択



MainWindow.xib をダブルクリックすると、Interface Builder が自動的に起動し、図 1.1-4 のとおり真っ白なキャンパスのようなウィンドウが表示される。これから、この真っ白なキャンパスに「Hello, world!」を描くことになる。

▶ 図 1.1-4 MainWindow.xib のウィンドウ



ここで、画面の右側を確認してほしい。そこに図 1.1-5 と同じ Library ウィンドウが表示されているだろうが（表示されていないければメニューバーから [Tools] - [Library] を選択する）。